

# 森林管理グループ F-net 大井川の 「これから」

森林管理グループF-net大井川の活動は始まったばかり。  
今後はグループの拡大、認証森林の拡大を図っていきます。

川根本町の面積の94%を占める森林は町の自然環境と産業の重要な基盤であり、環境に優しい森林管理を行いつつ林業の振興を図っていくことが重要な課題です。永続的に豊かな森林資源を後世に引き継いでいくため、そして林産物の付加価値を高めるため、F-net大井川では森林認証の原則に基づく適正な森林管理を行っていきます。



## 環境に配慮した森林施業を行います

苗木の植えつけや、<sup>じごしらえ</sup>地拵え、下刈り、枝打ち、除間伐など、森林施業のあらゆる工程において、認証基準に準じ、環境に十分配慮します。

- 例) ・地拵えのときは可能な限り広葉樹を残す。  
 ・表土のかきおこしを最小限に抑える。  
 ・鳥類の営巣を確認した場合は周辺作業に留意する。  
 ・伐採木の残枝などは可能な限り林地に残す。  
 ・山腹の崩壊に注意した施業を行う。など

## 環境教育を推進します

尾呂久保地区にある白羽山羽ばたきの森については、「白羽山羽ばたきの森に集う会」の活動の場として確保します。  
 重要な環境教育の場であるということ意識して、認証基準に準じ、環境に配慮した施業を行っていきます。



## 生物の多様性を確保します

水質保全や生物多様性を確保するために、林地内にある河川や溪流は、その岸から10m~20m程度のバッファゾーン（緩衝地帯）を設けます。バッファゾーンでは、天然林はそのまま保護し、人工林は広葉樹の自然植生を促します。また、伐採木が河川などにかからないよう注意して施業を行います。レッドデータブック※などを参考に希少動植物の保護に努めます。

※レッドデータブック：絶滅の恐れがある希少な野生動植物をリストアップしたもの。平成16年に県版レッドデータブックが発行されている。

## ◆ CoC 認証 ◆

### — CoC認証の取得を関連業者に積極的に働きかけていきます

F S Cのラベル（ロゴマーク）を製品につけて販売するためには、流通や加工に携わる業者も、「CoC認証※」という認証を受ける必要があります。

（CoC認証を取得していない業者がF S C認証材を扱う場合は「一般材」として扱うことになります）

F S Cの効果を最大限に引き出すため、今後、町内及び近隣市町の業者などに「CoC認証」を取得してもらうよう積極的に働きかけます。森林認証という付加価値をつけた製品を生産することで、林産業活性化につなげます。

※CoC認証…認証森林の林産物を材料とした製品が、森林から消費者に届くまでの過程において、認証材が適切に使用されていることを認証すること。チェーン・オブ・カスタディの略。製造・加工・流通といったすべての流れを含んでいる。製品にラベルをつけることができるのは、F S C認証材を、CoC認証取得業者が扱った場合のみ。



### 森林管理方針

#### 1、基本理念

自然と人間が共生する循環型社会の構築を目指して、環境に配慮した適切な森林管理と木材などの森林資源の有効活用を通じて地域社会に貢献します。

また、後年にわたって資源・技術を伝承します。

#### 2、基本方針

地域の9割以上を占める森林管理の一部を担うものとして、F S Cの原則と規準や関係法令を遵守し「森林の整備育成、木材の生産、木材の販売及び林業活動」を以下の基本方針に基づき実施します。

##### 【森林管理方法】

環境、社会、経済などに配慮した森林管理方法を明らかにし、作業員及び関係機関に対する理解と意識向上に努める。

##### 【社会との関係】

地域社会の一員であることを認識し、広く社会との良好な関係を保つよう努める。

##### 【適切な計画・実行】

常に長期的視野に立って経

#### 3、活動項目

##### 【環境に対して】

・天然林を保護し、景観の多様性を図り、豊かな生態系を築きます。

・大井川及びその支流の河川を守り、下流住民の水質として森林を保全します。

・森林内を流れる溪流の水質汚染を防ぎ、水生生物の多様性を確保します。

・野生動植物との共生のための森林環境を整備します。

##### 【社会に対して】

・森林が持つ多面的な機能について広く住民に理解を得る

営計画を定め、確実な実行、検証、見直しを行う。

ため、地域住民や都市住民と連携した森林づくりをします。

・林業従事者の安定確保と地域社会の雇用の場として、森林が寄与できるよう努めます。

・環境教育の場として、フィールド及び情報、実技を提供します。

##### 【経済に対して】

・循環型社会における木材の価値を高め、木材の利用拡大と安定供給に努めます。

・経済的な森林管理のために、路網整備と管理計画に基づく施業を実行します。

・木材生産、森林整備のコスト軽減のために合理化を徹底的に行うとともに、環境負荷を最小にする努力をします。

### 今後の取り組み

#### 【森林管理能力の向上】

グループ認証森林面積の拡大を図り、町全体として森林管理のレベルアップに取り組めます。

#### 【認証の付加価値を高める】

町内、流域の木材関係業者などと連携を図り、地域、流域内で認証の付加価値を高めることを目指します。

#### 【情報公開・意見の採用】

森林管理に関する情報を公開し、町民の皆さんの意見を可能な限り採用します。